

本試験によく出る！甲種危険物問題集 改訂第4版 正誤表

ページ	箇所	誤	正
p.26	【問題5】問題 3行目	・・・(B)の危険性を判断するための危険性を判断するための政令・・・	・・・(B)の危険性を判断するための政令・・・
p.34	【問題17】問題 3行目	・・・ガソリン5000ℓ,・・・	・・・ガソリン500ℓ,・・・
p.140	【問題1】解説	気体は臨海温度より低い温度でないと液化せず、また、臨界温度のときに液化したときの圧力が臨界圧力となります。	臨界温度で気体を圧縮すると、臨界圧力に達したときに、気体と液体の区別がない臨界流体(超臨海状態にある物質)になります。
p.141	下欄 解答欄	【問題1】(4)	【問題1】(5)
p.166	【問題7】選択肢	硫酸灯油	硫酸、灯油
p.174	【問題5】解説の 下から2行目	なお、アセトン(CH ₃ COHCH ₃)が完全燃焼	なお、アセトン(CH ₃ COCH ₃)が完全燃焼
p.180	【問題11】解説 下から6行を右の式に置き換えてください。	<p>なお、下記の①～③の式より、エタン(C₂H₆)の生成熱Qを求める問題も出題されているので、要注意です。</p> <p>⇒ 2C + 3H₂ = C₂H₆ + Q ⇒ このQを求めればよい。</p> <p>① C₂H₆ + 7/2 O₂ = 2CO₂ + 3H₂O + 1560KJ (エタンの燃焼式)</p> <p>② C + O₂ = CO₂ + 394KJ</p> <p>③ H₂ + 1/2 O₂ = H₂O + 286KJ…③</p> <p>②×2 + ③×3 - ① から、2C + 3H₂ = C₂H₆ + 86kJ と求められます。</p>	
p.280	【問題27】解説	第1類危険物は、加熱すると 酸素 を発生します。そのうち、アルカリ金属の無機過酸化物(過酸化カリウム、過酸化ナトリウム)は、 水と反応しても酸素 を発生します。従って、Cの過酸化カリウム、Eの過酸化ナトリウムの 2つ になります。	第1類危険物は、加熱すると 酸素 を発生します。そのうち、アルカリ金属の無機過酸化物(過酸化カリウム、過酸化ナトリウム)や アルカリ土類金属の無機過酸化物(過酸化カルシウム、過酸化バリウム)及び過酸化マグネシウム は、 水と反応しても酸素 を発生します。従って、 Aの過酸化カルシウム、Cの過酸化カリウム、Eの過酸化ナトリウムの3つ になります。
	【問題27】解答	【問題27】(2)	【問題27】(3)
p.376	【問題32】 解説 B	誤り。 酸化剤 との接触により激しく分解します。	正しい。なお、酸化剤とも反応して激しく分解します。
	【問題32】 解説の最下行	従って、誤っているのは、B、Cの 2つ になります。	従って、誤っているのは、 Cの1つ になります。
p.377	【問題33】 解説 B	誤り。硫酸ヒドロキシルアミンは強い 還元剤 であり、 酸化剤 が存在すると爆発的な分解が起こる場合があります。	正しい。なお、硫酸ヒドロキシルアミンは強い還元剤なので、酸化剤とも反応して爆発的な分解が起こる場合があります。
	【問題33】 解説の最下行	従って、誤っているのは、B、Cの 2つ になります。	従って、誤っているのは、 Cの1つ になります。
p.377	下欄 解答欄	【問題32】(2) 【問題33】(2)	【問題32】(1) 【問題33】(1)